

レクチャー 11.11

Osaka Creative Forum2016

パブリックスペースが開く、都市の未来

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [Osaka Creative Forum2016](#)

パブリックスペースを開放することで魅力ある都市の未来はいかにつくられていくか？
 社会の問題や行政の抱える課題をクリエイティブに解決し、都市の魅力へとつなげる創造会議。



江之子島文化芸術創造センター（enoco）が担う「プラットフォーム形成支援事業」では、公共空間の利活用、地域の活性化、まちづくりなど、単独の部局だけでは解決が困難な複合的な行政課題に対して、アーティストやデザイナー、府民、専門家などの多様な立場の組織や人が、“プラットフォーム”を形成し、行政主導ではなく、対等な立場で交流・対話を行い、アートやデザイン等をツールとして、解決策を検討し提案する官民共同の体制づくりを支援しています。都市整備や医療や福祉、防災等、様々な分野で新たな行政手法を獲得する政策イノベーションをもたらすことを目指すプラットフォーム形成支援事業を知っていただくとともに、手法としての有効性をより深く議論するため、斬新な実践や考え方で大きな注目を集めるゲストをお迎えし、第4回「Osaka Creative Forum」を開催します。

2016年度は、道路や河川などの公共空間や、広場や公開空地などのオープンスペースが、もっともっと自由になることで、日本の都市は魅力的に生まれ変わる！と主張する3名のパネラーが、刺激的なトークを繰り広げます。

[\[チラシPDF\]](#)

日時：2016年11月11日（金）18:30～21:00（開場18:00）

場所：朝日生命ホール（淀屋橋/住所：大阪市中央区高麗橋4丁目2番16号 大阪朝日生命館8階）
<http://www.sunskyroom.jp/asahi.htm>

定員：300名

資料代：500円

—パネリスト—

山名清隆氏（ミズベリング・プロジェクト事務局代表）
山崎亮氏（コミュニティデザイナー/studio-L代表）
忽那裕樹氏（江之子島文化芸術創造センタープラットフォーム部門チーフディレクター/ランドスケープ・デザイナー/E-DESIGN代表）

—構成—

- 1.取組み紹介
2.enocoプラットフォームのこれまでの取組み紹介
3.ディスカッション
- ・パブリックスペースの活用を支える仕組みとデザイン
 - ・魅力ある場所がつけられるまでとつくられてから
 - ・まちづくりにおけるソフトとハードの両輪の必要性
- などについてのクロストーク

[主催]大阪府、江之子島文化芸術創造センター（enoco）

[事務局・問い合わせ・お申込先]

大阪府立江之子島文化芸術創造センタープラットフォーム部門
株式会社E-DESIGN内
TEL：06-4964-5151 FAX：06-4964-5152

Mail: matsumoto[a] edesign-inc.com（担当：松本）＊[a]を@に変えて送信してください。

■パネリストプロフィール

山名清隆氏 Kiyotaka Yamana

ミズベリング・プロジェクト事務局 代表

1960 年静岡県生まれ。東京デザイナー学院卒。博覧会ディレクター、米国フードトレンド情報誌編集長、TV番組キャスターなどを経て、公共広域専門会社で大型公共事業のPR業務を数多く手がける。2005 年『ソーシャルデザインとソシオメソッド』をテーマに「スコップ」を起業。キャベツ畑で愛を叫ぶ「愛妻家協会」（2008 年地域づくり総務大臣表彰）、交通安全リデザイン「東京（スマートドライバー）」（2015 年グッドデザイン賞 100 選受賞）、水辺の創造力を高める「ミズベリングプロジェクト」など、地域が活力を再生し連携し合うムーブメントをプロデュースしている。『土木の広場』（日経コンストラクション）、神戸大学非常勤講師など。



山崎 亮氏 Ryo Yamazaki

コミュニティデザイナー/studio-L 代表

1973 年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士（工学）。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005 年に studio-L を設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。『海士町総合復興計画』studio-L 伊賀事務所』『しまのわ 2014』でグッドデザイン賞、「親子健康手帳」でキッズデザイン賞などを受賞。著書に『コミュニティデザイン』（学芸出版社：不動産協会賞受賞）『コミュニティデザインの時代（中公新書）』『ソーシャルデザイン・アトラス（鹿島出版会）』『まちの幸福論（NHK出版）』などがある。



[コーディネーター]

忽那裕樹氏 Hiroki Kutsuna

大阪府立江之子島文化芸術創造センタープラットフォーム部門
チーフディレクター/ランドスケープ・デザイナー/E-DESIGN 代表

1966 年大阪府生まれ。庭園をはじめ公園や広場、大学、商業・集合住宅・病院などのランドスケープのデザインとプログラムを国内外で展開。パークマネジメント、タウンマネジメントを通して、地域の改善や魅力向上に様々な立場で関わっている。「大阪府立江之子島文化芸術創造センタープラットフォーム支援事業」チーフディレクターを務めると共に、民主導の水と光のまちづくり推進組織「水都大阪パートナーズ」の理事として数々の事業の企画・運営を推進中。立命館大学建築都市デザイン学科大学院SDP・客員教授。「千里リハビリテーション病院」「ヌーヴェル赤羽台」でグッドデザイン賞を受賞。著書に『都市を変える水辺アクション』（学芸出版社・共著）などがある。



サイトポリシー・ プライバシーポリシー	> enocoについて	> お知らせ・プレスリリース	Like 175 ツイート	^
指定管理者	> 事業紹介	> メルマガ登録		
バナー広告募集	> フロアガイド	> ニュースレター		
	> レンタルスペース	> お問い合わせ		
		> アクセス		